★地域とともにある学校づくりを目指して★

黒部市コミュニティ・スクール通信　Vol.16

令和８年の２月中旬から３月にかけて、全ての小中学校で学校運営協議会を開催し、今年度の取組について、アクションプランや保護者アンケートをもとに成果と課題を整理するとともに、令和８年度の方向性について協議されました。本年度もコミュニティ・スクールの活動に多大なご支援をいただき感謝いたします。次年度も、学校運営協議会を核として、地域とともにある学校づくりがさらに充実するよう、ご理解とご協力をお願いします。

◇◇

学校運営協議会での意見交換や協議されたことの一部を紹介します。

卒業生を送る会（学校により行事名が異なる）と合わせて協議会を開催する学校が複数ありました。委員の方々の感想として、

・インフルエンザ等のため、リモートでの対応や欠席者の補充等、丁寧で工夫されたとても素敵な送る会だった。

・子供たちの姿を頼もしく見ることができ、たくさんの元気をもらった。

・手作り感があり、子供たちも緊張することがなく楽しんでいた。

など子供たちの姿に好意的な内容がほとんどでした。子供たちの活躍する姿を通して、普段の学校運営の積み重ねを垣間見るとともに、委員の皆様の「子供のために」といった気持ちが高まったことと思います。

またアクションプランや保護者アンケートに関しては、あいさつや家庭学習、睡眠時間、ゲーム、スマホ等、多くの学校で課題となっています。これらについては学校の指導だけではなく、家庭との連携が大切であること等が話し合われました。

◇◇

清明中学校　調理実習（家庭科）

２学年では家庭科の時間に調理実習として「マダラを使った煮魚」に挑戦し、グループで協力して、調理しました。できあがった煮魚は、全員で美味しくいただきました。この実習に際し、黒部市食育改善推進委員（５名）と学校運営委員（３名）に協力していただきました。



生徒の声

・すぐにアドバイスがもらえたので、安心して取り組めた。

・地域の方々と話ができ、交流が深まった。

・分からないことを聞いてから実践でき、自分のできることが増え、自身がついた。

教員・ボランティアの方の声

・生徒との風通しがよくなっている。

・地域の方々に対する感謝の気持ちをもって学習に取り組んでいる。

・複数の大人の目で見た授業の改善点を、次のクラスの学習にすぐに生かせる。

令和８年３月１２日発行

発行：黒部市教育委員会 学校教育課　コミュニティ・スクール担当　℡：0765-54-2701